



# GO! GO! きもつきおこし

肝付町地域おこし活動報告



毎年恒例の志布志お釈迦祭り  
今年も加勢してきました!



平田神社初の慰霊祭  
素朴な雰囲気になりました

田中 綾音 (たなか あやね)

肝付町の地域おこし協力隊として岸良暮らしも通算3年目。今でも、海や山や畑が織りなす景色の美しさに毎日いやされています。

さて、今年もナゴシドンの季節がやってまいります! 8月14日に開催される、盛夏の岸良の伝統行事「ナゴシドン」。そこで披露する町指定無形民俗文化財「平田神社の神舞」の舞手となってくださる方と、運営のボランティアをして下さる方を募集中です(6/15現在)。

2回目なので、段取りが分かっているぶん去年よりは楽かなと思いきや、そうはならなさそうです

## ひとつひとつ、こつこつと

…。どうしたら毎年続けられるような形になるか、どうしたら神舞の練習と地域の皆さんとの交流を両立できるか、どうやって予算を確保するか、どうやって参加者を集めるか…。ひとつひとつ、こつこつ試行錯誤しながら、毎年よりよくしていきたいです。

協賛して下さる方も探し中です。地元にとって魅力的なものにするため、ご興味ある方はお問い合わせください。

昨年の様子と今年の詳細は、ホームページからご覧ください!  
<https://www.nagoshidon.com>



1992年生静岡県浜松市出身。東京外語大学卒。2014年度緑のふるさと協力隊として肝付町に赴任。

## 船間の古民家に魅入られて

明治時代に串間から移築された古民家の改修をしている。

この古民家は改修前、住居としては機能せず、漁師さんが網の修理をしたり、家庭の荷物をしまったりするのに使われていた。

心地よく家の中に入る自然光と囲炉裏の煙で黒く燻された柱や梁が醸し出す雰囲気は絶妙に調和し、知らぬ間にぼくの気分を和やかにさせてくれた。

いつ壊されてもおかしくない古民家が、(独りよがりな言い方をすれば、)家としての役目を終えようとする最後の最後に解き放つ最も美しい輝きに、感化された。家の持ち主に改修をさせて下さいと懇願し、ぼくの協力隊の活動がスタートした。

民家の改修のほか、キビナゴや辺塚橙を使った加工品開発も行う。また野草について勉強中である。



むき出しになった床部分



改修中の古民家



吉田 有志 (よしだ ゆうじ)

1982年生。アメリカ生まれ神奈川県育ち。米での商社勤務を経て、ネット販売やアプリ開発など個人事業を始める。

地域おこし協力隊のブログ「きもつきおこし!」<https://kimotsukiokoshi.wordpress.com/>